

こども通信

塚田こども医院

小児科・アレルギー科

 上越市栄町 2-2-25
 TEL 025-544-7777(代)
 025-544-7779(保育室)
 FAX 025-544-8456

 各種ネット予約
 www.0255447777.com/i
 ホームページ
 www.kodomo-iin.com

厳しかった冬が終わろうとしています。その分、春の訪れが待ち遠しいですね。
 今年はお花見をたくさん楽しめるといいですね。

* * *

今冬は記録的な豪雪でした。近年は雪の降り方が穏やかだったこともあり、社会に与えたダメージは大きかったですね。



日頃からの備えには、災害がダブルでやってくることも想定しておく必要があります。再稼働に向けて準備中。やはり大雪に事故が重なったら・・・避難は不可能でしょう。

高速道路や幹線道路での立ち往生。建物の崩壊。除雪作業中の事故。学校や企業の休業。通勤や通学の困難など。生活どころか、命の危険も生じていました。

ふと思ったことですが、豪雪の最中に他の災害や事故が重なったらどうなるのだろうか。

先月13日には福島県沖合でマグニチュード7.3、最大震度6強の大きな地震がありました。もし大雪の中でこんな地震が起きたら、被害はさらに大きくなるでしょうし、避難も救助も困難です。

かかないといけないようです。そして、原発事故は人災です。原発がなければ起きないこと。再稼働についてはその点も考えて欲しい。

来たる3月11日は東日本大震災から10年。巨大地震、大津波、そして原発事故。あの時の教訓が十分に生かされていないようです。

感染症情報

新型コロナウイルス感染症はまだ大きな問題です。国内では都市部で流行していますが、首都圏などに緊急事態宣言が出され、発生数は減少しましたが、それでもまだ一定発生が続いています。

新潟県でもある保育園で変異型によるクラスター（集団発生）がおきました。上越市も、夜の接待を伴う飲食店でクラスターが発生。今後地域の中に広がっていかないか、心配です。

予防法の基本は変わりません。流行地との往来を避け、多人数での会食を控えるなど、不必要な接触を避けましょう。また日頃から行っているマスク着用、手洗い、周囲の人との距離を十分にとるなどの対応もしっかり行ってください。

今後新型コロナが疑われる時には、あらかじめかかりつけ医に電話連絡をし、その指示にしたがって受診するようお願いいたします。

当院ではいざという時のために隔離棟を準備するなど、必要な対応をしています。

溶連菌感染症とアデノウイルス性咽頭炎が少数ですが発生しています。溶連菌感染症は抗菌薬の治療が必要です。

感染性胃腸炎も若干の発生があります。小児は脱水や低血糖になりやすく、ぐったりとしている場合はすぐに受診して下さい。

インフルエンザの流行はまだ始まっていません。風疹や麻疹の発生は当地ではありません。

★新型コロナにより注意を！

上越市内でクラスターが発生しました。今後、市中に拡大しないか心配です。

接触歴があるなど、新型コロナを疑う状況がある方が発熱などの感冒症状が出た場合は、受診の前にかかりつけ医療機関、または次の施設に電話連絡をしてください。

●新潟県新型コロナ受診・相談センター（24時間）

電話 025-256-8275

●上越保健所（平日日中）

電話 025-524-6134

今月の予定

院長出務

上越市夜間診療所出務 17日

上越有線放送 「健康ライフ」 16日

FM上越 「Dr. ジローのこども健康相談」

毎週木曜午後1:20頃～(76.1MHz)

感染症情報（毎週）

FM上越：木曜午後1:35頃～

上越有線放送：月曜午後6時～（番組内）

新型コロナ

ワクチンについて

一部では、新型コロナウイルス感染症はただ風邪であり、恐れる必要はない、などと軽視する傾向がありますが、とんでもないことです。

発生から1年ほどですが、世界中で1億人以上が罹患し、250万人以上の死者が出ています。日本でも7千人近くが死んでいます（実数はもっと多い可能性があります）。

様々な症状をおこし、重大な合併症や後遺症をもたらします。高齢者にとっては、最後の灯火を吹き消す感染症にもなります。若い方でも重い症状になることもあります。

こんなに伝染力が強く、病状が重くなる感染症が、普通の風邪であるわけがありません。

インフルエンザとも違って、未だ治療薬はありません（重症になった時の治療法は分かっています）。主には対症療法です。症状が軽いようなら無治療で経過を見ることも多いです。

そんな「強毒ウイルス」である新

型コロナの攻略は、流行を抑え、かからないようにすることに尽きます。一人一人の感染予防もしっかりとお願いします。

そこで期待されるのがワクチンです。現在、世界では数社がすでにワクチンを生産し、接種が始まっています。どのワクチンも、驚くほどの高い予防効果があるようです。

●ワクチンの効果

これらのワクチンは、従来のものとは違う、革新的な技術によって作られています。

これまでのワクチンはウイルスや細菌を弱毒化したし、その一部を使って作ります。それを体内に投与し、体にウイルスや細菌の形を覚え込ませ、本物の病原体が体内に入ってきた時に、それを排除する力（免疫力）を作ろうというものです。

新型コロナのワクチンは、ウイルス表面にあるスパイクというタンパク質を作る遺伝子部分を体内に投与し、体内の細胞にスパイクを作製させ、それに対する免疫を自分で作るという二段階のことを行います。

こうすることで、短期間にワクチンを大量に（比較的安価に）作ることもできます。効果も従来のものより優れています。

もちろん高い安全性が求められますが、これも従来のワクチンと比べて特段のものはないようです。（接種後の腫れや痛みは通常よくある副反応。アナフィラキシーショックは接種後すぐに起きることがあり、医療者がきちんと対応すれば死に至ることはありません）

●ワクチンで守るもの

ワクチンはまず接種を受けた人を守ります。

新型コロナにかかりにくくなる（さらに、かからなくなる）ことを期待していますが、少なくとも、かつても軽く済ませることができません。また、その時でも周囲に対する感染力は少ないものと思われず。

接種の優先順位が医療従事者の次に、もし罹患したら重症になりやすい高齢者としているのは、本人のリスクを軽減させるためです。

また、多くの方がワクチン接種を

受けると、罹患者が少なくなり、流行も小さくなっていくでしょう。その結果、ワクチンを受けていない人も、間接的に守られることになりそうです。

厳しい生活や活動の制限は不要になり、日常生活が以前に近くなってくるでしょう。いつになるかは分かりませんが、いずれ終息することも期待できます。

●これからのスケジュール

残念ながら日本国内での製造は遅れていて、輸入量も、いつ入ってくるかも不確定です。

医療従事者への接種は一部が始まりましたが、到底3月中には終わらないでしょう。高齢者も4月からはいえ、本格的に始まるのはそのあと。2回の接種が終わり、成人への接種は・・・一体いつになるのか、見当もつきません。

とは言え、行政から接種の案内が来たら、ぜひ進んで受けるようにしてください。ご自身だけではなく、周囲の人たちも守ることになるので、すから。